

風水雪害特約共済

近年、台風、局地的豪雨、豪雪などの自然災害が多発!!

※風災、水災、雪災により、建物又は動産に20万円以上の損害を受けた場合、共済金が支払われます。
詳しくは、しおりをご参照ください。



自然災害(台風・豪雨・大雪等)被害状況

年	被害	住家被害(棟)		
		全壊・半壊	床上浸水	合計
平成27~令和元年		14,776	5,337	20,113
令和2~令和6年		4,336	3,152	7,488

上記棟数は、過去10年間に於ける5か年の平均値です。

出典: 最近の主な自然災害について(内閣府)を加工して作成。

<https://www.bousai.go.jp/updates/pdf/shizensaigai.pdf>

自然災害の被害を受けた組合員様からの声

- ・風水雪害特約に加入していたため、高額な修理費用を支払う際に、自己負担額を少なく抑えることができて助かった。
- ・風水雪害特約に加入していなかったため、共済金の支払いが思っていたより少なく苦労した。

小さなプラスで
大きな安心だね!

特約契約をつければ、
もしものときの共済金が
ぐーんとUPね

1口当たりの掛金額

木造	基本契約	特約契約	耐火造	基本契約	特約契約
550円	300円	+250円	450円	200円	+250円

令和8年4月発効契約より掛金改定

お得に安心!

特約契約250円を
プラスで最高限度額が
3,000万円になります。

最高限度額

風水雪害 共済金	基本契約 300円	風水雪害 特約共済金	特約契約 +250円で	最高限度額
600万円	+	2,400万円		3,000万円

契約の方法

火災共済契約(基本契約)に附帯して、風水雪害特約契約を締結していただくこととなります。

基本契約口数が建物64口、
動産32口を超えない場合

特約契約口数は
基本契約と同口数

基本契約口数が建物64口、
動産32口を超える場合

特約契約口数は
建物64口、動産32口が上限

風水雪害及び風水雪害特約共済金の最高限度額

区分	契約金額	契約口数	共済金の 最高限度額
基本契約 (風水雪害共済金)	4,000万円	80口	400万円
特約契約 (風水雪害特約共済金)	3,200万円	64口	1,600万円
合計			2,000万円

区分	契約金額	契約口数	共済金の 最高限度額
基本契約 (風水雪害共済金)	2,000万円	40口	200万円
特約契約 (風水雪害特約共済金)	1,600万円	32口	800万円
合計			1,000万円



都市生協

検索

ホームページにて最適な掛金シミュレーションができます。

<https://www.toshiseikyo.or.jp/kasai/simulation/>



■共済金の算出方法

基本契約分(風水雪害共済金)

物件の再取得価額に対する損害の割合により、契約口数に下表の1口当たり支払額を乗じて得た額を支払います。

損害の割合	被災物件に係る共済契約1口当たり支払額
全 部	50,000円
$\frac{1}{2}$ 以 上	25,000円
$\frac{1}{3}$ 以 上	15,000円
$\frac{1}{3}$ 未 満	3,000円

特約契約分(風水雪害特約共済金)

$$\text{損害額} \times \frac{\text{契約金額}}{\text{物件の再取得価額} \times 0.8} = \text{算出額}$$

$$\text{上記損害額、契約金額及び算出額を比較し、いずれか少ない額} \times \frac{1}{2} = \text{風水雪害特約共済金}$$

※損害額の $\frac{1}{2}$ が限度です。

■共済金の支払事例

事例 台風により全壊(損害額:建物 2,000万円 動産1,000万円)し、残存物取片付費用が100万円生じた。

契約内容

3,000万円

建物 2,000万円(40口)
動産 1,000万円(20口)

	再取得価額	契約金額
建物	2,000万円	2,000万円(40口)
動産	1,000万円	1,000万円(20口)

基本契約分

風水雪害共済金 (1口当たりの掛金額 = 木造300円、耐火造200円)

風水雪害共済金			
建物	1口当たり支払額	$\times 40口 = 200万円$	300万円
動産	1口当たり支払額	$\times 20口 = 100万円$	

臨時費用共済金 $300万円 \times 0.15 = 45万円$

残存物取片付費用共済金 $300万円 \times 0.05 = 15万円$

A 計 360万円

特約契約分

風水雪害特約共済金 (1口当たりの掛金額 = 木造250円、耐火造250円)

風水雪害特約共済金				
	損害額	契約金額 物件の再取得価額	算出額	
建物	2,000万円	$\frac{2,000\text{万円}}{2,000\text{万円} \times 0.8}$	=	2,500万円
		$\times 2,000\text{万円} \times \frac{1}{2}$	=	1,000万円
動産	1,000万円	$\frac{1,000\text{万円}}{1,000\text{万円} \times 0.8}$	=	1,250万円
		$\times 1,000\text{万円} \times \frac{1}{2}$	=	500万円
				1,500万円

※印の金額は、損害額、契約金額及び算出額を比較し、いずれか少ない額となります。

臨時費用共済金 $1,500万円 \times 0.15 = 225万円$

残存物取片付費用共済金 $1,500万円 \times 0.05 = 75万円$

B 計 1,800万円

風水雪害特約契約の場合

基本契約分
(風水雪害共済金)

A 360万円

に

特約契約分
(風水雪害特約共済金)

B 1,800万円

をプラスした

(**A + B**)の支払いになります!

C 2,160万円

風水雪害共済金

損害額

3,000万円

A 360万円

特約契約
の場合

風水雪害特約共済金

損害額

3,000万円

B 1,800万円
+
A 360万円

C 2,160万円

本会は、全国市長会が全国各市の要望に応じて、消費生活協同組合法に基づき、昭和33年に創設された組合です。創設以来、都市職員の生活の安定と向上に向けて共済事業を実施しております。



生活協
同組合

全国都市職員災害共済会

事業部 火災共済

フリーダイヤル

0120-753-375

FAX.03-3262-2795

URL <https://www.toshiseikyo.or.jp>

厚生労働大臣認可